

✦パラオ研修生のコーナー✦ 最終回

県立常陸大宮高等学校・聖愛保育園を訪問しました。

1/18・24
2/20



▲パラオの紹介をするジェニー

常陸大宮高等学校では、機械科3学年生徒による「課題研究発表会」が行われ、研修生はものづくりに関する成果発表を聴きました。発表では生徒の作品が紹介され、研修生は「生徒たちがあのような立派な作品を作れることがすごい。」などと話していました。また、研修生が再び学校を訪れ、1、2学年の生徒にパラオの歴史や文化、常陸大宮市との歴史的な関係を紹介しました。「パラオに行ってみたい人はいますか？」という研修生の質問には、全員が「行ってみたい」と手を挙げていました。



▲園児とダンスをするケネリー

聖愛保育園を訪問し、3歳以上の園児88人と交流をしました。「Laboratory Party (ラボパーティ)」では、英語の歌とダンスと一緒に体を動かしながらリズムカルに楽しく踊りました。研修生によるパラオの紹介後、園児から「歌」や「楽器演奏」の発表がありました。クラスに分かれての昼食は「塩ラーメン・ぎょうざ・りんご等」のメニューで、研修生もおいしさにびっくり。園児は覚えたてのパラオ語を使い、みんなで「アジダイジョブ(おいしい)！」と元気に声をあげていました。

最後に、保育士の先生から「鶴」「コマ」「手裏剣」の折り紙を習い、有意義な交流となりました。

3月で1年間の研修を終えた3人の感想を紹介します



▲“Bong ma uriul (ボン マウリウル)”「また会いましょう！」
左からアスティン、ジェニー、ケネリー

アスティン

私は日本で様々な体験をしました。習字、折り紙、空手、剣道、柔道、餅つきなどの文化を教えてもらいました。桜や雪は、日本に来て初めて見ました。本当に綺麗で、これが日本の景色なのかと感動しました。私は日本で見たもの、体験したこと、感じたこと、そのすべてをパラオの人たちに伝えたいと思います。そして、私は、日本とパラオがもっと仲良くなれるような大きな架け橋になりたいです。

ジェニー

私には大好きな日本語があります。それは「一期一会」です。「人生は一度きり。それぞれの出会いを大切にしましょう。」という意味です。私は日本に来てたくさんの人に出会いました。私に日本の伝統文化を教えてくれた人、一緒に遊んでくれた子どもたち、私のことを家族のように思ってくれる人もできました。皆さんは私の人生に大きな影響を与えてくれ、それはいつまでも私の心の支えとなることでしょ。私は皆さんとの出会いを忘れません。

ケネリー

もう1年が経ってしまったのかと、時の流れの速さに驚いています。日本に来た時、私は「こんにちは」しかわかりませんでした。でも今は皆さんと日本語で話をするができます。それは様々なイベントに参加させてもらい、市民の皆さんとたくさん交流をして、日本語をたくさん教えてもらったからです。私はもっと勉強して、常陸大宮市に戻ってきて、様々なことを教えてくれた皆さんに恩返しをしたいと思います。